

資料

用 語 解 説

ア行

ICT

Information and Communications Technology（情報通信技術）の略。

アスベスト

天然に産する鉱物である石綿（せきめん、いしわた）のこと。建築資材として様々な形で使用されてきたが、繊維の吸入による健康被害が判明したことから、現在では製造及び使用が禁止されている。

アビリンピック

全国障害者技能競技大会の愛称（「アビリティ」(Ability=能力)と「オリンピック」(Olympics)を合わせた言葉）。

アンバサダー

一般的に「大使」と翻訳され、日本では著名人や芸能人などがブランド大使として任命されている時に使われることが多い。ここでは、「SNS活用アンバサダー」として、地域を代表し、地域の出来事等をSNSを活用して発信する役目を担う人のこと。

インキュベーション・マネージャー

これから事業をはじめようとする人や経験の少ない起業家へ、事業の知識やノウハウ、経営資源などに関しアドバイスを行うなど、事業の実現に向けて支援をする人。

インフルエンサー

世間に与える影響力が大きい行動を行う人物のこと。

AI (Artificial Intelligence)

学習や推論など人間の知能が持つ役割をコンピュータで実現する技術のことで、人工知能ともいう。

HTLV-1

Human T-cell Leukemia Virus Type 1（ヒトT細胞白血病ウイルスI型）の略。

ALT (Assistant Language Teacher)

中学校や高校の外国語指導助手。

エコライフ

地球環境に負荷の少ない生活スタイルのこと。

SNS (Social Networking Service)

個人間のコミュニケーションを促進し、社会的なネットワークの構築を支援するインターネットを利用したサービスのこと。

NPO (Non-Profit Organization)

営利を目的としない公益的な市民活動などを行う民間の組織、団体のこと。

M&Aプラットフォーム

事業承継などにおける事業を譲りたい方（売り手）と事業を引き受けたい方（買い手）をウェブサイト上でマッチングするインターネットを活用したサービスのこと。

オープンデータ

地方公共団体等が保有する公共データを、市民や企業等が利活用しやすいように機械判読に適した形式で、二次利用可能なルールの下で公開すること。

カ行

環境管理事業所

鹿児島市環境保全条例に基づいて適正に環境管理を行い、環境への負荷の少ない事業活動を自主的に行っている事業所。愛称はグリーンオフィスかごしま。

クラウドファンディング

インターネットを介して不特定多数の人々から資金調達すること。

グランピング

グラマラス（魅惑的な）とキャンピングを掛け合わせた造語で、テント設営や食事の準備などの煩わしさから旅行者を解放した「良い所取りの自然体験」に与えられた名称。

クリエイティブ産業

デザインをはじめ、映像・ゲーム等のコンテンツ（メディアが記録・伝送し、人が鑑賞するひとまとまりの情報）など、個人の創造性や技術、才能に由来する知的ノウハウを活用した商品・サービスを生産する産業。

COOL CHOICE (クールチョイス)

2030年度に温室効果ガスの排出量を2013年度比で26%削減するという国の目標達成のため、脱炭素社会づくりに貢献する製品への買換え・サービスの利用・ライフスタイルの選択など、地球温暖化対策に資する「賢い選択」をしていこうという取組のこと。

コミュニティサイクル

複数のサイクルポート（自転車貸出・返却拠点）を配置し、どのサイクルポートでも自転車の貸出・返却ができるシステムのこと。

サ行

GIS (Geographic Information System)

位置に関する情報を持ったデータを総合的に管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にする技術のこと。

ジオパーク

「地球・大地 (ジオ : GEO)」と「公園 (パーク : PARK)」とを組み合わせた言葉で、「大地の公園」を意味し、地球を学びまるごと楽しむことができる場所のこと。

次世代自動車

走行中の二酸化炭素排出が少ない、または全くないなどの環境にやさしい自動車で、具体的には、ハイブリッド自動車、電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車、クリーンディーゼル自動車、天然ガス自動車がある。

シビックプライド

まちに誇りを抱き、より良いまちにするためにまちづくりやまちの魅力発信などに積極的に関わろうとする意識のこと。

重要業績評価指標 (KPI)

Key Performance Indicator の略。施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標。

スクールソーシャルワーカー

社会福祉の専門的な知識、技術を活用し、問題を抱えた児童生徒を取り巻く環境に働きかけ、家庭、学校、地域の関係機関をつなぎ、児童生徒の悩みや抱えている問題の解決に向けて支援する専門家のこと。

ストックマネジメント

既存の建築物 (ストック) を有効に活用し、長寿命化等を図る体系的な手法のこと。

スマート自治体

システムや AI 等の技術を駆使して、効果的・効率的に行政サービスを提供する自治体のこと。

3R

ごみの減量化・資源化のキーワードで、Reduce(リデュース : 発生抑制)、Reuse(リユース : 再使用)、Recycle(リサイクル : 再生利用)の3つの頭文字をとったもの。

生物多様性

人間も含めた多くの種類の生き物すべてが、複雑に関わりあって生きていることで、「生態系の多様性」、「種の多様性」、「遺伝子の多様性」の3つのレベルでの多様性がある。

セーフコミュニティ

「事故やけがは原因を調べ対策を行うことにより、予防できる」との考えのもと、さまざまな統計データやアンケートなどの分析結果に基づき、地域住民、行政、関係団体などが協働して事故やけがを予防する取組のこと。または、その取組を進めているコミュニティ。

ゼロカーボン

二酸化炭素などの温室効果ガスの人為的な発生源による排出量を、森林等の吸収量で相殺して差し引きゼロにすること。

潜在保育士

保育士資格を有しているが、保育士として就業していない人。

ソーシャルビジネス

少子高齢化、環境、貧困問題などの社会的課題を、ビジネスを通じて解決しようとする活動。

タ行

ダンボールコンポスト

ダンボールを活用した生ごみ処理器のこと。

地域コミュニティ

日常生活を支え合う身近な地域社会のこと。

地域包括ケア

地域の高齢者に対し、介護・医療サービスのほか見守りなどのさまざまな生活支援を、包括的、継続的に提供すること。

DMO (Destination Management/Marketing Organization)

地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協働しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた組織のこと。

定期借地権

存続期間を 50 年以上として借地権を設定し、契約の更新及び建物の築造による存続期間の延長がなく、並びに買取りの請求をしないこととする旨を定めることができるもの。

適応指導教室

不登校等の児童生徒に対して、集団生活や学業等に関する相談や指導・支援を行う教室。本市ではフレンドシップと呼称している。

デジタルサイネージ

電子看板。液晶ディスプレイなどの電子的な表示機器を使用した屋内外の標識。文字や画像、動画などを活用して、多様な案内や広告を展開することができる。通信機能を有する場合は、リアルタイムでの情報発信や任意の表示切替も可能となる。

都市型農業

市街地と調和を保ちながら、農地の集約的・効率的な利用を行い、地域の特性を生かした農畜産物を生産し、安全安心かつ新鮮で良質な農畜産物を供給するとともに、防災や緑地保全などの農業の持つ公益的機能の点から都市と農業の共存を図ろうとする農業。

DV (Domestic Violence)

配偶者や恋人など親密な関係にある、又はあった者から振るわれる暴力のこと。

ナ行

ネーミングライツ

施設の愛称を付ける権利のことを意味し、“命名権”とも言われるもの。本市における定義は、「本市が所有する施設の愛称を付ける権利を売却すること」。

農業の6次産業化

所得の向上や地域の活性化を図るため、農業者等が農産物の生産（1次産業）に加え、加工（2次産業）や販売等（3次産業）に主体的に取り組むこと。

ハ行

バイオガス

再生可能エネルギーの一つで、有機性廃棄物（生ごみ等）や家畜の糞尿などを発酵させて得られる可燃性ガス（主成分はメタン・二酸化炭素）のこと。

HACCP (Hazard Analysis and Critical Control Point) (ハサップ)

食品等事業者自らが食中毒菌汚染や異物混入等の危害要因（ハザード）を把握した上で、原材料の入荷から製品の出荷に至る全工程の中で、それらの危害要因を除去又は低減させるために特に重要な工程を管理し、製品の安全性を確保しようとする衛生管理の手法のこと。

パブリックコメント手続

行政機関が施策を実施するにあたって、その趣旨、内容、その他必要な事項を公表し、それに対して出された意見や情報を検討して最終的な意思決定に向けて行う手続きのこと。

ピアサポーター

精神障害者としての経験を生かし、ピア（仲間）として支え合う活動をする方々のこと。

P F I (Private Finance Initiative)

PFI 法に基づき、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法。

ヒートショック

冬場の急激な温度変化により、血圧が急上昇・急降下することで起こりうる失神や心筋梗塞、脳卒中など、身体へ悪影響を及ぼすこと。

P P P (Public Private Partnership)

公共施設等の建設、維持管理、運営等を行政と民間が連携して行うことにより、民間の創意工夫等を活用し、財政資金の効率的使用や行政の効率化等を図るもの。

ファミリー・サポート・センター

育児や家事の援助を依頼する依頼会員、援助を行う提供会員及びどちらも可能な両方会員で組織され、会員相互による育児の相互援助活動を実施するもの。

不育症

妊娠はするけれども、流産、死産、早期新生児死亡を繰り返す状態。

プライマリーバランス

借金（市債）を除いた歳入と返済（元金）を除いた歳出を比較したもので、歳入のほうが多くなれば黒字となり、財政が健全であることを示す。

ブランドメッセージ

まちならではの魅力や価値を凝縮した、「こんなまちでありたい」という願いを表すシティプロモーションを進めていくための合言葉。

ポータルサイト

関連する分野別に情報が整理され、リンク先が表示されているウェブサイト。

ホーム・エネルギー・マネジメント・システム（HEMS）

空調・照明等の電力使用量等を個別に計測し、調整する制御機能と、電力使用量等の「見える化」の機能を有するシステムのこと。

マ行

M I C E (マイス)

企業等の会議（Meeting）、企業等を行う報奨・研修旅行（インセンティブ旅行）（Incentive Travel）、国際機関・団体、学会等が行う国際会議等（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）、の頭文字のこと。多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

マイナポータル

行政機関などが保有する自己情報を確認できる政府が運営するオンラインサービス。

マンホールトイレ

下水道に接続する排水設備のマンホール上に、便器や簡易テント等を設置し、災害時に使用するトイレ。

メガソーラー

1メガワット（1,000キロワット）以上の発電出力を持つ大規模な太陽光発電施設のこと。

メディアミックス

テレビスポットや交通広告等において、広告を同時期に同イメージで行うことにより、視聴者に対して強いインパクトを与える広告方法のこと。

メディカルコントロール

医学的観点から救急救命士を含む救急隊員が行う応急処置等の質を保証すること。

ヤ行

U I Jターン

進学や就職を機に故郷から都会へ移住した後、再び故郷に移住するUターン、故郷に近い都市に移住するJターン、また、進学や就職を機に故郷とは別の地域に移住するIターンの総称。

UPZ (Urgent Protective Action Planning Zone)

原子力施設からおおむね半径5～30kmの範囲で防災対策を重点的に行う区域（緊急時防護措置準備区域）のこと。

ラ行

ライフサイクルコスト

施設における初期建設費用とその後の維持管理更新費用等を含めた生涯費用の総計（トータルコスト）のこと。

LINE（ライン）

スマートフォンなどで利用できるソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）の一つで、メッセージの送受信や音声通話などの機能を有する。

リノベーション

古い建物の機能を今の時代に適したあり方に変えて、新しい機能を付与すること。

連携中枢都市圏

連携中枢都市となる圏域の中心都市と経済、社会、文化または住民生活等において密接な関係を有する近隣の市町村が、連携協約を締結することにより形成される都市圏のこと。

ワ行

ワーク・ライフ・バランス

「仕事と生活の調和」。国民一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できること。

WAN (Wide Area Network)

離れた施設や地域に分散しているネットワークを連携することで構築される通信網のこと。